

2026年6月期 第2四半期決算説明資料

株式会社クオルテック 【証券コード：9165】

Highlights

01 当第2四半期累計期間の売上高は、全体で前年同期比6.8%成長し、2,059百万円。第2四半期としては、上場来最高額を更新。

当社の主要取引先である車載業界の技術開発は、電動化推進の動きに加え消費電力削減の観点から、パワー半導体の開発需要は依然として堅調に推移。そのような状況下で、顧客企業の製品開発フェーズを着実に捉えて対応した結果、主力事業である信頼性評価事業は、前年同期比4.9%成長。また微細加工事業においては、レーザ加工の量産案件ニーズに対応、表面処理技術も主要顧客からの受注が好調で、前年同期比30.1%成長と、大きく貢献。

02 営業利益は前年同期比33.8%成長し、209百万円。第2四半期としては上場来最高益を更新。引き続き成長戦略に向けた拡販体制強化、新規事業への研究開発を積極的に進めつつ、間接部門での効率化にも注力した結果、売上および売上総利益の増加が本社費用などの販管費増加を上回ったことによる。

03 通期業績予想は当初予想を据え置き。上記の通り車載メーカーをはじめとする需要は順調に推移も、米国関税政策の動向による製品開発への影響や、国内半導体市場の先行き懸念なども拭いきれず、それらの長期化による顧客企業の開発費削減リスクも潜在しております。

目次

- 1 | 決算概要
- 2 | セグメント別売上高
- 3 | 営業利益増減内容
- 4 | 四半期売上高推移
- 5 | その他経営数値
- 6 | 通期業績予想
- 7 | 1株当たり配当額と配当性向の推移
- 8 | 附録(注意事項)



1. 決算概要

前年同期より増収増益。売上高は+130百万円で、売上高の増加が本社費用などの販管費の増加を上回ったことから営業利益は+52百万円。経常利益は営業外損益影響を含め+53百万円。四半期純利益は前年同期に投資有価証券評価損の計上を行っていたことから、+42百万円。

【単位:百万円】()内は売上高比

	25年6月期 2Q実績		26年6月期 2Q実績		前期差
売上高		1,928		2,059	+130
営業利益	(8.1%)	156	(10.2%)	209	+52
経常利益	(8.1%)	155	(10.1%)	208	+53
四半期 純利益	(4.8%)	92	(6.6%)	135	+42



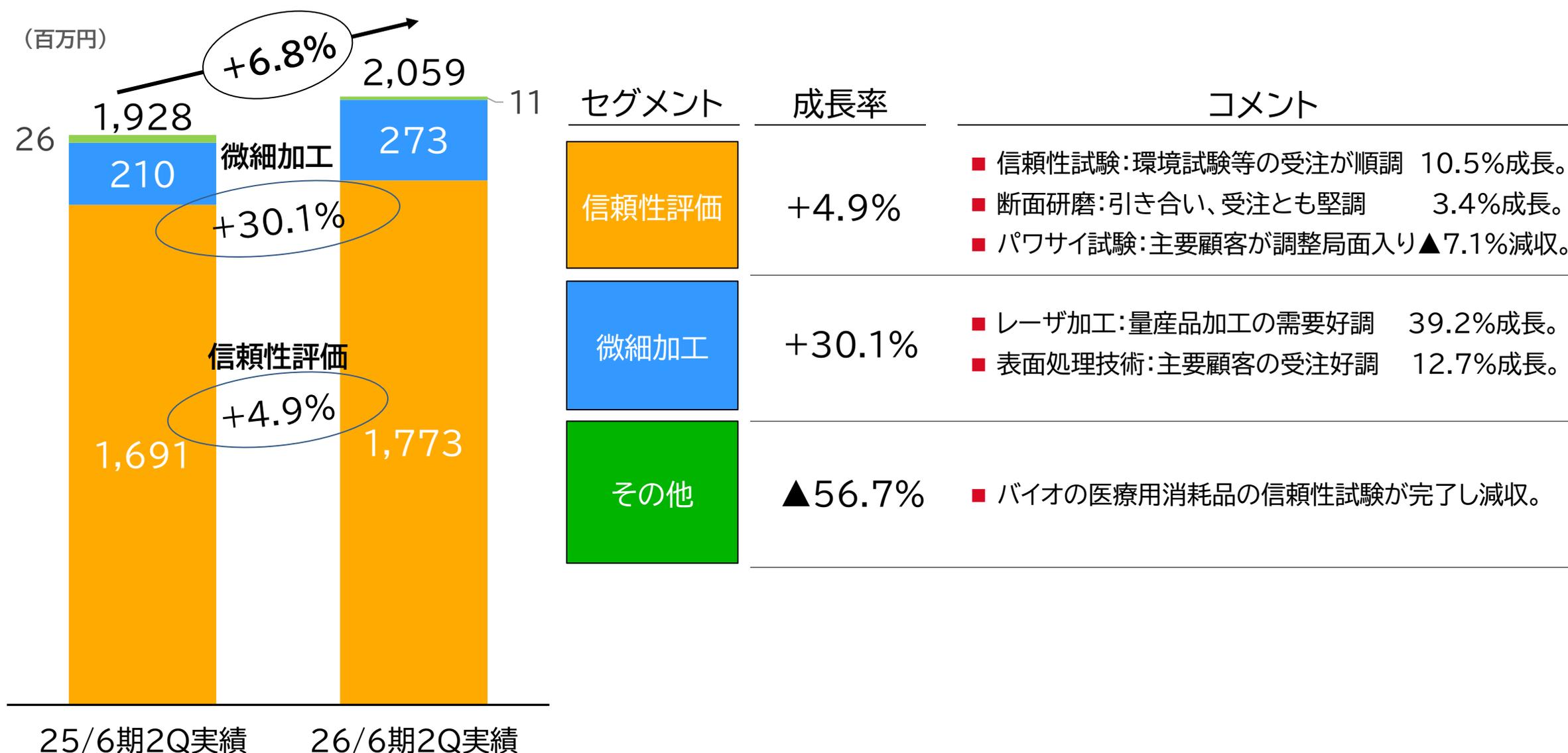
2.セグメント別売上高(対前年同期)

全社売上高は前年同期比+6.8%成長。

主力の信頼性評価事業は、環境試験における振動試験に加え、分析・解析における観察案件、電子機器評価におけるEMC案件等の受注が増加。断面研磨も堅調な推移となっており、全体で前年同期比+4.9%成長。

微細加工事業は、レーザー加工で試作から量産案件へのシフトが貢献。将来の収入源となる試作加工の受注も引き続き堅調。表面処理技術では、主要顧客からの基板評価案件等の受注が好調。全体で前年同期比+30.1%成長。

その他事業は、バイオで厚生労働省案件の医療用消耗品の信頼性試験が完了した影響で、▲56.7%減収。



3. 営業利益増減内容(対前年同期)

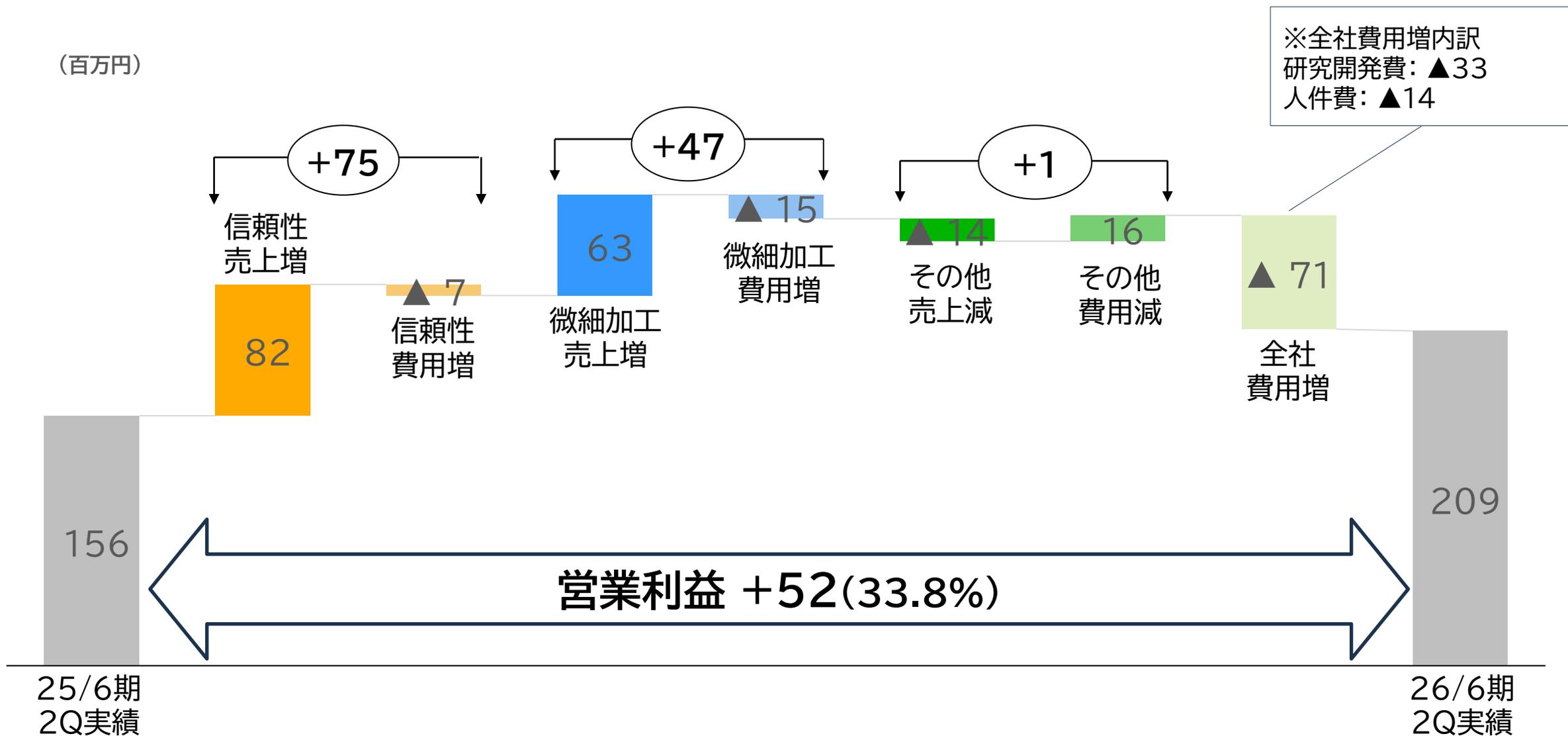
全社営業利益は前年同期比+52百万円と大幅増益。

主力事業である信頼性評価事業は売上増加分が、費用増を上回り、+75百万円の増益。

微細加工事業は売上増加の割合が+30.1%と大きく、同じく費用増を上回り+47百万円の増益。

その他事業はバイオで受託試験売上減も、前期中から対応した人件費等の費用減で+1百万円の増益。

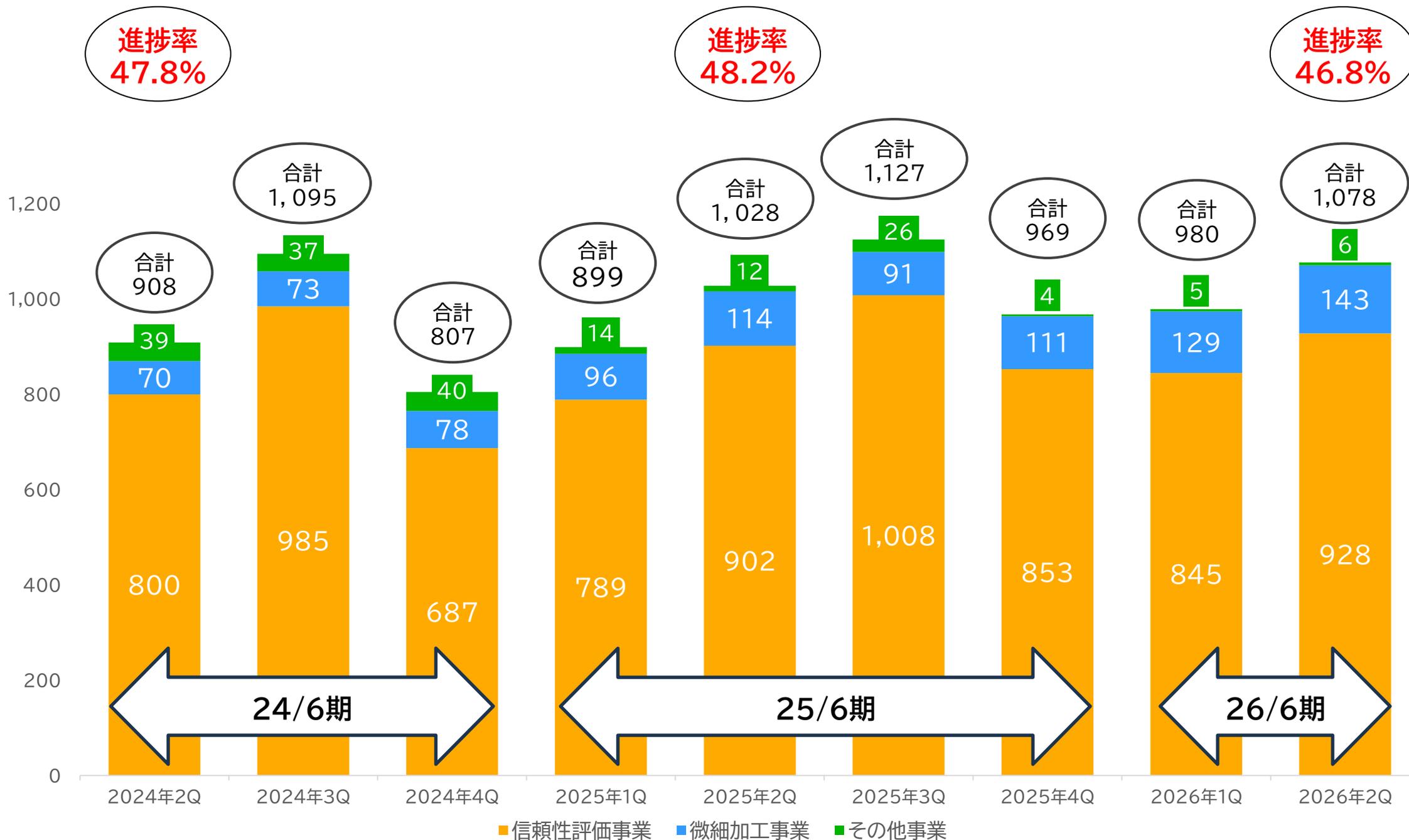
全社共通部門は研究開発の積極推進に伴う先行投資等により▲71百万円の費用増。



4. 四半期売上高推移(セグメント別)

第2四半期で累計売上高は20億円を上回り、上場来最高累計売上高を更新。

【単位:百万円】



※25/6期から表面処理技術はその他事業から微細加工事業にセグメント変更しておりますが、24/6期は変更後の区分にて記載しております。

5.その他経営数値(対前年同期)

その他経営数値の状況は下記の通り。

設備投資における前期差は前年同期にパワエレクトロニクスセンター立上げ影響による増加があったものです。

【単位:百万円】()内は売上高比

	25年6月期 2Q実績		26年6月期 2Q実績		前期差
総資産		4,034		4,486	+452
純資産		3,150		3,325	+175
自己資本比率		78.1%		74.1%	▲4.0%
現預金残高		1,538		1,568	+30
設備投資		433		292	▲140
研究開発費	(4.4%)	84	(5.8%)	118	+33
在籍人員(人)		253		260	+7

6.通期業績予想

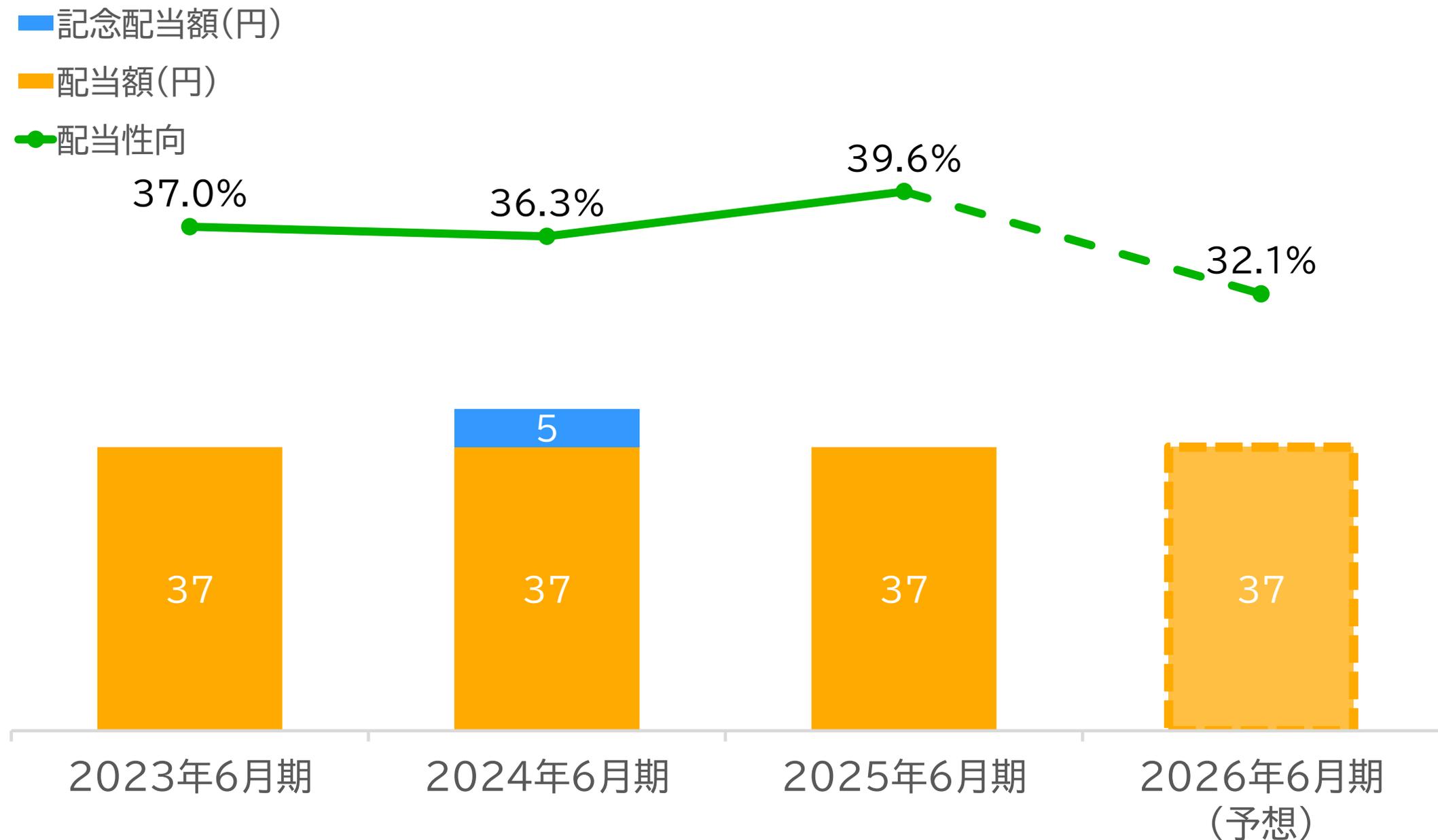
通期業績予想は当初予想を据え置き。上記の通り車載メーカーをはじめとする需要は順調に推移も、米国関税政策の動向による製品開発への影響や、国内半導体市場の先行き懸念なども拭いきれず、それらの長期化による顧客企業の開発費削減リスクも潜在しております。

【単位:百万円】()内は売上高比

	25年6月期 通期実績		26年6月期 通期業績予想 (8/8)		前期差
売上高		4,025		4,400	+374
営業利益	(9.6%)	384	(9.2%)	405	+20
経常利益	(9.6%)	384	(9.2%)	404	+19
当期純利益	(5.5%)	219	(6.2%)	271	+51

7.1 株当たり配当額と配当性向の推移

株主還元方針として、設備投資や業容拡大の準備等に備え、内部留保を図りつつ、安定的な配当に努めることとしており、配当金額は前年と同額を計画(2024年6月期のみ上場記念配当5円あり)。業績予想と同様に、配当も当初予想から変更なし。



8. 附録(注意事項)

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

assists your "thinking"

Qualtec

